

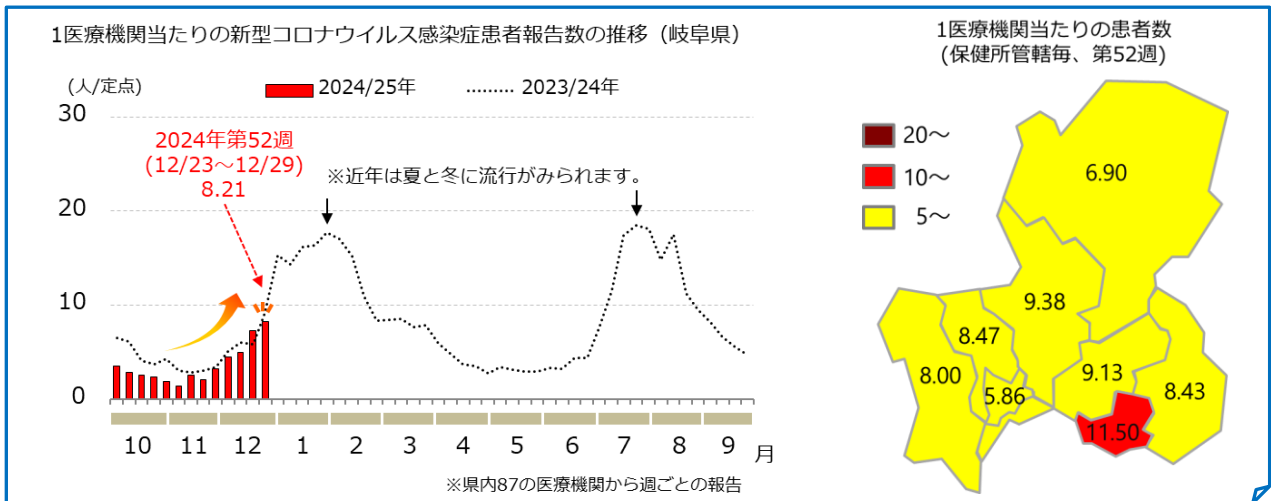
ぎふ感染症かわら版

令和7年1月8日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



新型コロナウイルス感染症に流行の兆候がみられます

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月に5類感染症へ移行した後、夏と冬、両方の季節で流行の様相を呈してきました。今冬も12月中旬から増加傾向がみられ、岐阜県全域での第52週（12/23～12/29）の患者報告数は1医療機関当たり8.21となりました。新型コロナウイルス感染症は、若い方でも日常生活に影響するほどの高熱やのどの痛みを生じ、高齢者や基礎疾患のある方などにとっては重症化するリスクの高い危険な病気です。自身が感染しないよう日常での予防対策を行うとともに、周囲にリスクの高い方がいる場合は、マスクを着用するなど、飛沫拡散を防止するための配慮をお願いします。



感染への注意が特に必要な人

◆ 高齢者 及び 持病がある方

※リスクの高い方が混雑した場所に出かける場合は、マスクを着用するなど注意してください。

※医療機関や高齢者施設への訪問時など、重症化リスクの高い方と会う場合は、マスクを着用するなどの配慮をお願いします。



かからないために

- 定期的な換気を行う
- こまめな手洗いや手指消毒を徹底する
- 混雑した場所を避け、熱中症に注意を払いつつ、場面に応じマスクを着用する
- 栄養と睡眠を十分にとる



ほかの人にうつさないために

- 体調不良の場合は、症状が軽くても無理をせず行動をストップする
- 体調不良の際はかかりつけ医での受診あるいは市販の検査キットを活用する
- 場面に応じたマスクの着用や咳エチケットなどで飛沫の拡散を防ぐ



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

